

経営比較分析表（令和元年度決算）

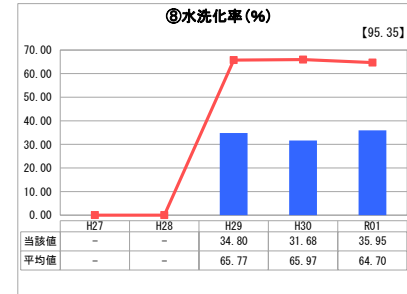
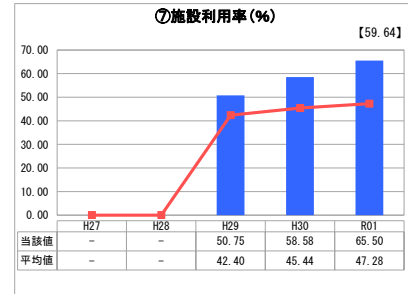
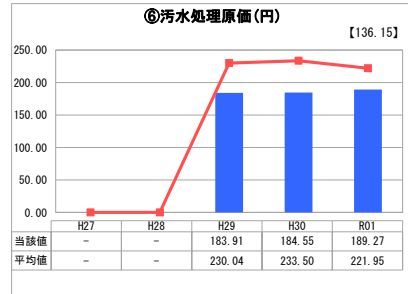
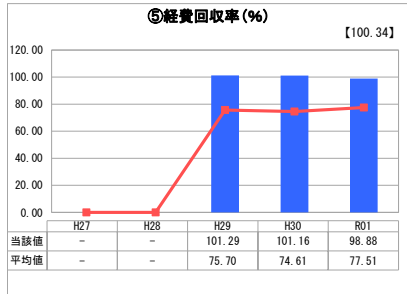
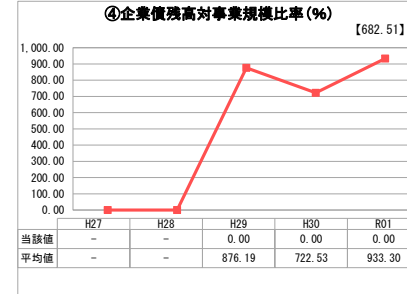
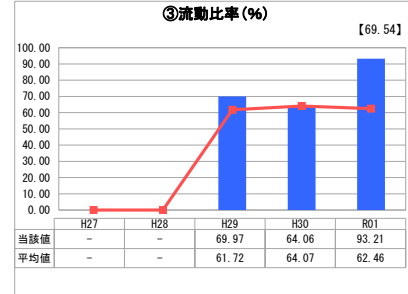
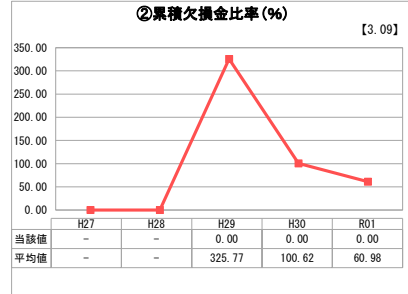
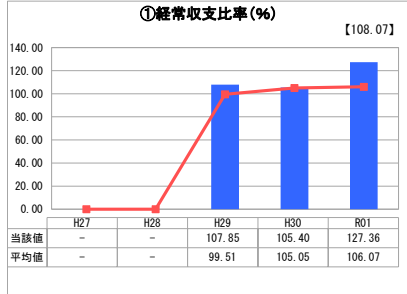
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	47.48	8.06	98.24	4,104

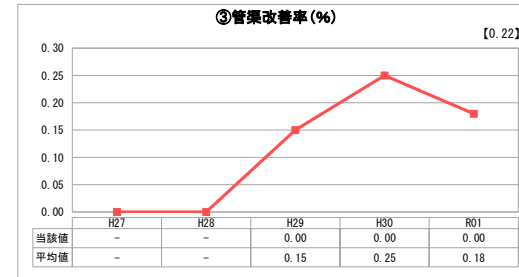
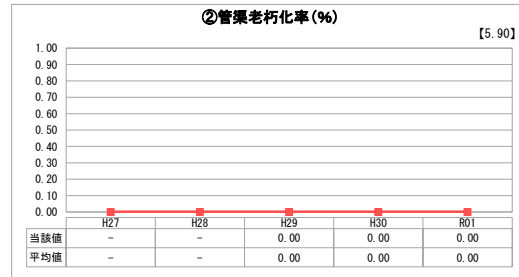
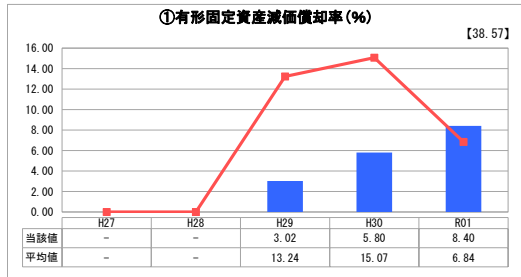
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,854	195.40	250.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,919	1.05	3,732.38

当該団体値(当該値)	類似団体平均値(平均値)	令和元年度全国平均
■	—	□

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・「経常収支比率」は、前年度に比べて増となっているが、これは一般会計からの繰入増によるものであり、一時的なものと言える。
- ・「累積欠損金比率」は、前年度と変わらず0であり、収支状況から見て将来的にも問題ないと言える。
- ・「流動比率」は、前年度に比べて増加しているものの、今後企業債償還額が増加傾向にあり、市の財政状況的に繰入が厳しくなることも考えられるため、将来に向けての検討が必要。
- ・「経費回収率」は、類似団体平均と比べて良く、また現在整備推進中のため、今後、より効率的な処理となることが見込まれる。
- ・「汚水処理原価」は、前年度と比べて増となったものの、類似団体平均と比べて良好と言える。なお、現在増設中の処理槽が稼働した場合、稼働施設が一気に増加するため、処理汚水量が増加するまでの期間、数値が高くなるのが予想される。
- ・「施設利用率」は、確実な伸びがみられる。なお、現在増設中の処理槽が稼働した場合、稼働施設が一気に増加するため、処理汚水量が増加するまでの期間、数値が低くなるのが予想される。
- ・「水洗化率」は、整備地区に後継者がいない高齢者世帯が多く、経済的に接続が難しい状況があり、伸び悩んでいる。健全経営が図れるよう、引き続き接続率の向上に努めて行く必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の公共下水道事業は、平成16年から開始しており、現在は整備推進中である。（計画期間～令和9年度）

- ・「有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均と比べ上回っているが、施設稼働から13年目であり、施設的に比較的新しいと言える。今後も長寿命化を図りながら、適正管理に努める。
- ・「管渠老朽化率」および「管渠改善率」は、管渠の耐用年数が50年であることから、未だ改修には至っておらず、ともに0である。

全体総括

平成29年度より公営企業法の適用を受けて、分析3年目となり、ある程度の傾向が見えて来た。類似団体平均と比べた場合、比較的良好な経営状態にあると言える。

下水道事業の健全経営を継続できるよう、経営戦略に基づいた長期的な視点で判断・対応していくことが重要と考える。

特に接続率の向上は、経営健全化の鍵となるものなので、国の施策等を踏まえて総合的に検討し、取り組んでいく必要があると考える。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。